



# ぶんと通信

第93号

2014年4月15日発行  
 (公財)伊賀市文化都市協会

## たれそのもり 垂園森(誰其の森)

伊賀鉄道市部駅東方の水田の中に、姿の美しい森がある。「垂園森」と呼ばれるこの森は、千年以上昔から文学上の名所として愛され続けてきた。「枕草子」の「森は」の段に十の有名な森の一つとして挙げられているのを始め、平安から鎌倉期に「歌枕」として数多く和歌に詠まれた。著名な歌学書にも名を残しやがて俳句に受継がれて、今なお訪れる人が絶えないと言う。

江戸初期の地誌『伊水温故』には、元々は藤の花が辺りを覆いみごとに延びていたので「垂園森」の名が付いたと記されている。野藤の垂れ下がった「垂園森」の、「垂れ」と「誰」をかけて和歌に詠んだのが歌枕となるゆえんだったのだろうか。薄い春陽の一日、森の鳥居をくぐると、二つのお社の境内は思いのほか明るく清らかで、紀貫之作と伝えられる歌碑の文字も読み取れた。また、服部土芳がこの森の北側にある「哀園森(あいのりん)」をも詠み込んだ「打ちならび月見るやうな森二つ」の句碑も建てられている。

二つの森を整備し続けている市部地区では、垂園森で大晦日から元旦に年越えの火上げ、一月中旬にどんど焼き、夏には祇園祭を二日間にわたって行い、区民が鎮守の森として敬っているという。また、近くのご夫婦が三十年間も毎朝境内の清掃をされており感謝されているとも伺った。

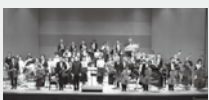
変わらぬように見えて日々移ろう自然と人の営みの中で、文学上の名所が千年以上も在り続けるのは稀有の事。まして今もその姿を美しく整えているのは、伊賀人の文化に寄せる心深さと鎮守の森を敬う村人の思いがあつてこそとうなずかずにはおれない。ともすれば忘れがちな先人の足跡やそれを受継いできた父祖の心…市部駅から望んだ春の森に、自分の立ち位置がどこなのか教えられた気がした。

【取材協力】市部地区区長 中岡宗治氏  
 (広報事業委員 廣澤良美)

ぶんと通信

### BUNTO チケット情報

#### 第9回 さんさん名曲コンサート



5/11日 好評発売中  
 開場13:30 開演14:00  
 一般 500円 (全席自由)  
 あやま文化センター

#### 響トップメンバーによる プラスアンサンブル



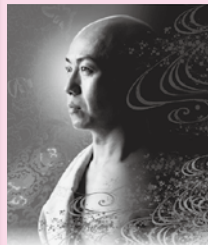
5/18日 好評発売中  
 開場14:30 開演15:00  
 一般 2,000円  
 高校生以下 1,000円 (全席指定)  
 青山ホール

#### アニソンBIG3 スーパーライブ2014 in 伊賀



5/25日 好評発売中  
 開場14:30 開演15:00  
 1階 3,500円  
 2階 3,000円 (全席指定)  
 伊賀市文化会館

#### わらび座ミュージカル ブッダ



6/15日 好評発売中  
 開場14:00 開演14:30  
 一般 4,000円 (全席指定)  
 伊賀市文化会館

#### 芭蕉翁生誕370年記念事業 芭蕉が想いを馳せた津軽 ~魂宿る 津軽三味線百人弾き~



7/13日 4/19日発売  
 開場13:30 開演14:00  
 一般 3,000円 (全席自由)  
 伊賀市文化会館

#### ワンコインコンサート Acoustic Jazz Concert T.T.D ジャズとフラメンコ 情熱という名の物語



7/26日 5/24日発売  
 開場18:00 開演18:30  
 一般 500円 (全席自由)  
 あやま文化センター

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 青山ホール

TEL.0595(24)7015  
 TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが あやま文化センター

TEL.0595(45)9125  
 TEL.0595(43)1125

## 先取りインタビュー

## N響 関山幸弘さん

来る5月18日(日)、青山ホールにおいて「N響トップメンバーによるプラスアンサンブル」が開催されます。金管五重奏のメンバーを代表してトランペット奏者の関山幸弘さんに公演に先立ちお話を伺いました。

Q. 日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団の首席メンバー揃いということで非常に楽しみにしています。今回の公演の内容、金管五重奏の聴きどころ、関山さんがお感じになる「ぜひここが素敵なので聴いて欲しい」というポイントを教えてください。

A. 日本のトップオーケストラの一員として、技術はもちろん、音色と音楽性も大切に日頃から精進しています。金管五重奏の魅力は、クラシックはもちろん、ジャズや映画音楽、日本のメロディーなど、親しみやすいプログラミングにあります。みなさんご存知の曲も多く演奏しますので、文句なしに喜んでいただけるものと信じています。



Q. 関山さんがトランペットを始めたいきさつや、トランペットの魅力をお聞かせください。

A. 私がトランペットを始めたのは、中学校の吹奏楽部がきっかけで、カッコ良くてやりたかったんです。金管楽器は人間の声が一番近く、柔らかく時には力強い。トラン

ペットは、それに輝かしさと華やかさをプラスした楽器です。

Q. オーケストラメンバーとして、トランペット奏者の日常をお聞かせください。例えばどんな1週間を過ごしているのでしょうか？(年間に出演する演奏会はどれくらいあるのか、練習時間はどれくらいかなどお願いします。)

A. 音楽家は大きく分ければ技術職であり、技術の衰えを防ぐには練習練習の日々を送らねばなりません。私の場合ですが、若い時よりも今の方が練習してる気がします。練習時間は、人それぞれだと思います。

Q. 伊賀・名張は吹奏楽が盛んで、ほとんどの中学・高校に吹奏楽部があり、熱心に活動しています。今回、公演までの時間に中高生を対象に指導いただくことになっています。練習の秘訣や、日頃どう音楽に向き合っていけばいいかなどアドバイスをお願いします。

A. 好きこそ物の上手なりという言葉があるように、どれだけ好きになれるかで決まると思います。好きなものは、いくら入れ込んでやっても苦にならないはず。私も疲れて練習をサボりたい時なんか、「いかんいかん、もっともっとラップを好きにならないと」と、気合を入れ直しています。プロになるとか思う以前に、みなさんももっとトランペットを愛してください。そうすれば、おのずと道が開けてくるでしょう。  
<取材協力/フリーペーパー MEG>

ありがとうございました。プラスの響きをたっぷり聴かせていただくのを楽しみにしています。

(広報事業委員 松永啓子)

## 先取りインタビュー

えびすもと

## 戒本みろさん

来る6月15日(日)、伊賀市文化会館で、劇団わらび座ミュージカル「ブッダ」が開催されます。手塚治虫作品のミュージカル化は「火の鳥 鳳凰編」(2008)、「アトム」(2010)に続き、第3弾だそうです。公演に先立って、シッタールタ(ブッダ)役・戒本(えびすもと)みろさんに、お話を伺うことができました。

## &lt;劇団わらび座プロフィール&gt;

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描く劇団です。1951年2月創立。民謡の宝庫と呼ばれる秋田県仙北市にホームベースを置き、現在、7つの公演グループで年間約1,200回の公演を全国で行っています。海外公演は、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、ブラジルなど16カ国で行なっています。

Q. 手塚作品に数多く取り組まれているわらび座さんですが、手塚作品への印象などお聞かせください。

A. 手塚さんの作品のひとつ、「ガラスの地球を救え」というエッセイのなかに、21世紀を生きる子どもたちが、安心して生きられる地球を受け渡していく責任が、私達大人にはあるのだと書かれています。20世紀末に書かれたこの手塚さんの思いは、今を生きる私達が、次の世代に受け継いでゆかねばならないと思います。手塚さんが命を削って産み出した漫画のひとつひとつに、その思いは詰まっています。手塚さんの漫画は、人類が永遠に伝えてゆかねばならない宝だと、私は思っています。

Q. ブッダを演じることに際して、特に想い入れていることなどはございますか？

A. 「聞くこと」です。民の苦しみ、喜び、疑問。人々の声を聞く、そのために灼熱のインドの地を歩いた。そこから必然として仏教が生まれた。だからこそ、瞬間瞬間で交わされる民の心を聞き、受け止めていくことを大切にしています。

Q. 今回の伊賀公演に向けて、抱負をお願いします。

A. 先日、偶然にも、天正伊賀の乱を題材にした小説、「山河果てるとも(伊東潤著)」を読みました。500年の自治、そして織田軍による侵攻のあまりに残酷な歴史。我が国で繰り返される災害や戦いによって失われる命の重さは、歴史の古さ新しさは関係ないとおもいます。何百年経とうとも、その土地にはそこに生きた人々の思いが宿っているとおもいます。伊賀の地のあらゆる命に、私達の公演が届けられたら…と、思います。

Q. 最後に伊賀のファンの皆さんにメッセージをお願いします。

A. 伊賀の皆様にお会いできるのを楽しみにしています。お一人お一人の心の中に、光やぬくもりを感じていただけるような舞台を届けます！

「火の鳥」は子どものころに「ブッダ」も先日読みました。命・生きることについて奥深く真剣に描かれています。ミュージカル化される「ブッダ」が、どのような舞台になるのでしょうか？ 今からワクワクします。

(広報事業委員 下猶茂樹)





一筆啓上  
ふるさとへ

## 「Facebookで伊賀ことば」

新日鐵住金株式会社 チタン・特殊ステンレス事業部 部長

やま で よしあき  
山出善章

「これおもしろいでー」昨夏、帰省した私に父が見せてくれた一枚の紙。それは富山大学の中井精一教授が伊賀の方言（伊賀弁）の調査結果をまとめた番付表でした。東西の横網「だぁーこ」と「あれっこわい」から始まる伊賀弁計250語はそれぞれに懐かしく、驚きと発見に満ちた個性的な言葉でした。楽しく学術的でもあるこの番付表は、先生と調査に協力された市民の貴重な共有財産ともいえるでしょう。より多くの方に親しんで欲しいと思います。

表を見て頭に浮かんだのは「はよみんなに教えよ!」。「みんな」とはFacebook（以下FB）の上野高校32期（昭和56年卒）グループの仲間です。参加者は100名を超えて増え続けており、伊賀にいる者も出た者も、あたかも毎日クラス会を開いているようにお互いの様子を伝え合っています。早速「懐かしい」「おもしろい」など沢山のコメントが返ってきました。調査に上高生が協力したことや、福田先生（国語の恩師）が中井先生と意見交換されたことも寄せられました。

そんなやり取りをしているうちに誰からともなく自分の知る伊賀弁の書き込みが始まり「それよう言うたわ」「こんなもあるで」と、どんどん増えていきました。「よう（お）かな」「かざ（する）」「がっそ（かぶる）」「（〇〇や）けな」「（食べ）かけて」等々、中井先生版に載っていない重要な伊賀弁も出てきました。私は「勝手編集員」として、寄せられた意見を

整理し時々FBをアップデートしています。なぜか伊賀を離れている人の方が積極的に発言すること、同じ伊賀でも北と南では言葉は少し違うこと、古語との関係が深そうなことなど、改めて方言の奥深さに気づかされました。



「ふるさとの訛りなつかし駐車場の…」と石川啄木が詠んだ百年昔と比べてコミュニケーションツールは飛躍的に便利になりました。ところが未だにお国訛りが共通の話題だからかもしれない。きっと私たちの他にも、同じようなことをしているグループがいくつもあることでしょう。

当初は中井先生版の「勝手追捕」として軽い考えでスタートしたのですが、集まった語数も700に近づきつつあり、今では32期オリジナル版といえます。福田先生と32期グループみんなの力を集め、近いうちに辞書風に整理した「伊賀ことば」を皆さんのお目にかけたいと考えています。

# Bunto Online Ticket

## 6月発売開始のイベントから インターネットでもチケットが買える!



伊賀市文化都市協会では、2014年6月発売のチケットからホール公式のWEBオンラインチケットシステム「BUNTO Online Ticket」を導入します。

これまでの「窓口販売」「電話予約」に「オンライン」が加わり、購入方法の幅が広がります!

詳しい購入方法は、詳細が決まり次第ホームページでお知らせします。

### BUNTO Online Ticketの特徴

- ①インターネットを使用できる環境から、24時間いつでもチケットが購入できます。
- ②伊賀市文化都市協会の主催公演のチケットを取り扱います。  
※一部例外の公演もありますので、ホームページやチラシ等でご確認ください。
- ③お好きな座席をお選びいただくことが可能です。
- ④SaMaZaMa Club会員はWEBからも、「先行予約」や「会員価格」など、今まで同様の特典を受けることができます。

ふるさと通信

## 伊賀のええもん見つけた



昨年、12月25日、「伊賀市乾杯条例」が制定。伊賀が誇る特産品である伊賀酒を同じく伊賀の特産品で日本有数の古陶である伊賀焼の器に注いで乾杯する習慣を広めていくことになりました。

澄んだ空気、渓流で磨かれた水、良質の伊賀米、そして、しんと冷え込む冬の厳しさ。伊賀酒は豊かな自然に恵まれたこの地で醸されてきました。美酒を生む良質なお米は、豊かな土壌で育れます。伊賀焼も然り。全国的にもお米と焼き物の特産地は、重なることが多いようです。

現在、伊賀の國で日本酒を醸す蔵元は10場。年々その数も減り、規模も小さくなってきていますが、個性がキラリと光る銘醸蔵ばかり。乾杯条例の制定、「和食」のユネ

## 伊賀女に乾杯!!

スコ無形文化遺産の登録、そして、2020年の東京オリンピック開催決定。昨年立て続けに決まったこれらのことが後押しになって、伊賀酒も伊賀焼も、さらに大きく輝きを増すことでしょう。

ところで、去る3月9日、再開発できれいに整備された上野市駅前で、『伊賀風土FOODマーケット』がスタート。伊賀酒、伊賀焼はもちろんのこと、伊賀で採れたこだわりの農産物やそれらを使った美味しい食べ物やスイーツなどが結集。これから毎月第2日曜日に開催されることになりました。

そして、その中の1つの催し物として、『伊賀酒DE女子会ツアー』を初開催。これは2011年に誕生した「伊賀酒DE女子会」をさらに進化させた体験型の伊賀酒を楽しむ会。毎年秋にヒルホテルサンピア伊賀で開催される女子会は、チケットの入手が困難なほどの盛況ぶり、ツアーの方も大好評のうちに第1回を無事終了することが出来ました。近年何かと“女子”の力が注目を浴びますが、伊賀の“女子”もご多分に洩れないようです。

伊賀酒も、伊賀焼も、もちろんとっておきの「伊賀のええもん」。でも、一番の「伊賀のええもん」は、もしかして“伊賀女”!? 最近そんな気がしてきました。

(広報事業委員 重藤憲史)

## こだわり人生乾杯

### 「伊賀は俳諧連歌のメッカである」

伊賀連句会会長 山村俊夫

平成4年の春の頃、図書館の俳句会教室へ飛び込んできた話は「平成6年秋、国民文化祭が三重県で実施される。その項目に連句があるので、三重の連句の復興に協力してほしい。なお、伊賀の連句復活かなめの要となしてほしい」という事であった。

三重は俳諧の聖芭蕉、俳諧の祖荒木田守武の地であり、そんな土地柄から連句協会が最も力を入れて来たのである。当時連句は全く廃れて何もなかった三重で、平成3年から6年の間に関係者の火のような働きで連句句座十座が誕生した。伊賀連句会もその時の誕生で、以来二十余年、芭蕉が老吟のほねあらかだもりたけ(俳諧連歌こそ芭蕉の最も本領とする所)と語り命をけずった蕉風体連句を吾々なりに継ぎ、こだわり皆様に伝えて来たが、伊賀は本拠地でありながら理解しようとする人の少ないのが現状である。明治に連句の発句

(第一句)から俳句なるものを提唱した正岡子規に日本國中が傾倒し、現在に至り、昨今では芭蕉さんまでが、俳句の先生と呼ばれている。江戸時代の俳諧連歌は、今は連句と呼ばれ昭和五十年代から復興してきたのである。一旦廃れた文芸を復興するのは至難の業だと思知らされた二十年であった。

芭蕉さんが求めたものへの道の続きをこの伊賀で皆で進める日を夢見ている。今は旧青山町と旧伊賀町の座が支えてくれている。



右が山村氏

## 芭蕉さん歳時記

春まだ浅い頃、須知荒木神社（白鬚神社）を訪ねました。しんと静まりかえった参道に敷かれた玉砂利が、心地良い音をたてて迎えてくれました。黒い緑に囲まれた森の中を真っ直ぐ上へと延びる石段が、厳かな雰囲気醸し出しています。ここに芭蕉さんの句碑があります。

はたけ あさ  
畠うつ 春やあらしの さくら麻

季語は「畠うつ」・季節は春

奥の細道の旅から伊賀に戻り実家から近畿周遊中の頃、元禄3年（1690）47歳の作です。江戸の杉風さんふうに宛てた書簡が発案で、翌日木白主催の俳席に改案し臨んだものです。句意は、「春になって畑を打つ音がしきりにする。小石交じりの山畑なので荒々しい音がする。畑には桜麻が可憐な芽を出し、双葉が風にそよいでいる。麻の芽にとって、あの畑打つ音が荒々しい嵐の

ように聞こえるであろう。」というものです。桜麻とは麻の雄株。桜の咲く頃に蒔くからとも、麻の花が桜に似ているからとも言われています。「あらし」が「荒し」と「嵐」の掛詞になっています。

俳句のおもしろさは、数少ない言葉の間に隠れている作者の見た情景を、自分なりに思い浮かべ想いを感じる事です。この句に出会い、私の脳裏には幼い頃祖母が野良仕事をする傍らで、妹とタンポポやれんげを摘んで遊んだ事が蘇ってきました。まさにサクサクと小気味良い鎌の音に、時折カツンと石が当たり、その度に石を拾い上げ「よっこらしよ」と腰を伸ばす祖母。ゆらゆら記憶の海に揺れる春の思い出をひととき呼び起こしてくれた芭蕉さんの句でした。

【取材協力】公益財団法人 芭蕉翁顕彰会  
（広報事業委員 南出ゆかり）



優子の



多情  
多感

No.54

「業界用語」

北泉優子

どんな仕事の世界にも、その業界でしか通用しない言葉がある。目下、定例議会が開催中なので、その中継を見ていたら、精査とか、付託とか、意味は分かっても、普段はあまり使わない用語がとびかっていた。

わたしが身を置いたのは、テレビ界と出版界だが、この業界にも、一般には通用しない独特の用語があった。NG、本番、シナリオなどは、今や日常語として、ごく当たり前に口に出しているが、当時はまだ狭い業界の特殊なことばで、ふつうの世界では違和感があった。現に、あの頃、帰省中に、東京の松竹のテレビ部のプロデューサーから夜間に電話があり、用件を済ませて、受話器を置いたら、とたんに父に怒鳴られた。「お前は、30才近くになって、挨拶ひとつ出来ないのか！」「え、何のこと？と一瞬考え、はたと思い当たった。電話に出るなり、おはようございますと応じたからだ。テレビ界では、「こんにちは」のかわりに、おはようが通例だ。その日、初めて会えば、それが深夜でも、おはようなのである。別れる時、つまり帰る時は、「さようなら」ではなく、お疲れさま。それが業界の常識だった。そう話し、父の怒りを鎮めようとしたら、逆切れされて、「ここは放送局とちがう!!」と、叱られた。

それでは、わらう（笑う）とは、何をさすか、お分りだろうか。因みに本当に笑うことは、業界では吹くという。笑うをせりふふうに記してみよう。

「××ちゃん、次のシーン、机の花、笑ってね」  
「あの電柱、笑えないだろうなあ」

分った？ 焦らさないでお答えしよう。笑うとは、邪魔なもの、用済みなものをどかすこと、つまり、画面から消すことなのである。

この笑うでは、今も忘れられない、少々こっけいでもかなり怖いエピソードがある。その頃、わたしは、NHKの職員として、テレビ映画の制作にたずさわっていた。ハゴーストツブ物語Vという30分、週一回一年間シリーズだった。題名で想像がつく、タクシートの運転手たちと客との交流を描いた作品だ。だから、そのほとんどがロケになる。そして、スタッフも全員が、傾陽の映画界から流れてきた一本いくらの契約者だった。ロケ先で事故があった時、NHKとして責任を取れるのは、アシスタント・プロデューサーのわたしだけなのである。チーフは予算や編成部との交渉、脚本家との打ち合わせ等で、めつたにロケ現場に姿を見せなかった。

ある日、新橋駅前撮影をしていた。人気若手女優をゲスト主演に迎えたせいか、人垣ができた。その最前列いや、列からはみ出して女優に近づいてきたのが、いかにもチンピラ風の少年だったのだ。演出助手が何回制止しても、どうともしない。業を煮やした演出家が「その坊主、早く笑え!!」と叫んだ。そしたらである。チンピラ坊やが、ニコッと笑ったのだ。演出家がまた叫ぶ。「笑えッ!」と。きょとんとした彼は、今度は歯ぐきを丸出して笑った。ロケ隊一同が吹きそうになったが、こんな茶番につき合っている暇はない。道路使用許可は、あと30分しかないのだ。意を決したわたしは、無我夢中で、チンピラの前に飛び出した。

「撮影の邪魔になるんです。どいていただけませんか」  
「失礼な女だな。笑えというから笑ってやったのに、今度はどかすつもりか！ 恥かかしやがって・・・」  
「ごめんなさい。ここはカメラに入ります。お願いします」

チンピラ坊やは、四、五才年上のチビの娘の気迫に負けたのか、わたしが下げた頭を上げる前に、捨てぜりふも吐かず、人ごみへと消えてくれた。柄は大きかったが、きつと気弱な小心者だったのだろう。

この事件以降、業界用語としてのわらう（笑う）を現場でも、打ち合わせでも、使用禁止にした、私自身に對して。

（作家・市内在住）



芭蕉翁生誕370年記念事業・伊賀上野NINJAフェスタ協賛事業

— 侘び、寂び、忍び —

# 光のART展

松尾芭蕉が生まれた伊賀、  
そして伊賀忍者の里。  
光と影が創りだす、侘び、寂びの空間に  
ひそかに隠れる「忍」。

歴史情緒あふれる藤堂藩の藩校  
史跡旧崇廣堂に、光のART空間が広がる—

4.26(土) ▶ 5.6(火・祝)  
17:00 ~ 20:30

【会場】

史跡旧崇廣堂  
伊賀市上野丸之内78-1

**入場無料**

花の雲 光と遊ぶ 城の街

【Artist】 三代沢 信寿 長谷 優磁  
林田 さなえ 福廣 智子  
【Produce】 三代沢 信寿



**参加者募集**

## タッチ・ザ・スタインウェイ

~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!~

- ふるさと会館いが 5月17日(土) 10:00~17:00
  - 青山ホール 6月 7日(土) 10:00~17:00
  - あやまんさんホール 6月29日(日) 10:00~17:00
- 【演奏時間】 1枠30分 ※おひとり1枠のみ  
・申込者本人のみ利用。・音楽教室等の指導としての利用不可。
- 【参加費】 500円  
・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組  
1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)  
・1枠に3名以上(ただし2台の場合は除く)の使用は不可。
- 【募集人数】 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込方法】 4月19日(土) 11:00から電話受付  
※「あやまんさんホール」は「ふるさと会館いが」で受付
- 【申込先】 ●ふるさと会館いが ☎45-9125 (月曜休館)  
●青山ホール ☎52-1109 (水曜休館)

## チャリティーライブ Full・Come・Live FINAL

地域で文化活動(音楽・ダンス・伝統芸能などなど)している方  
チャリティーライブに出演しませんか!

- 【日 時】 7月6日(日) 13:30開場 14:00開演  
(注) 時間は出演者数が多数の場合は変更する可能性有
- 【場 所】 ふるさと会館いが 小ホール
- 【募集枠】 制限なし <前回出演された方も出演可>
- 【持ち時間】 1組20分(セッティング・撤収含)
- 【参加費】 無料 ※チャリティー開催の為、お一人様(19歳以上)につき  
500円の寄付をお願いします。19歳未満は自由。
- 【応募方法】 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、伊賀市文化  
会館にお持ちいただくか、FAXでお送りください。
- 【応募期間】 5月3日(土) 9:00~18日(日) 17:00必着  
その他、詳細についてはお問合せください。
- 【お問合せ】 伊賀市文化都市協会 ☎22-0511 / FAX 22-0512

**出演者募集**



史跡旧崇廣堂LIVE2014

## 夢一夜

YUMEHITOYO

三重出身の若き二人の  
アーティストが奏でる  
セッションLIVE



- 【日 時】 5月24日(土) 18:00開場 18:30開演
- 【場 所】 史跡旧崇廣堂 講堂 ※駐車場については、お問合せください。
- 【料 金】 一般 500円(全席自由)
- 【定 員】 160名(限定) 4月19日(土) 発売開始
- 【出 演】 竹田 京右(ギター) 伊藤 圭佑(津軽三味線)  
寺田 岳史(ギター)

## すうこうどう寄席 vol.11

膝を突き合わせるくらいの距離で  
落語の楽しさを体験しませんか!

- 【日 時】 6月29日(日)  
開場 18:30  
開演 19:00
- 【場 所】 史跡旧崇廣堂 講堂
- 【料 金】 一般 500円  
(全席自由)
- 【定 員】 120名程度
- 【出 演 者】 桂かい枝、桂 華紋
- 【チケット】 4月19日(土) 発売開始



史跡旧崇廣堂特別講座

## 古文書教室

**参加者募集**

歴史情緒あふれる江戸時代の藩校で、歴史史料をもとに「古文書」  
を読んでみませんか。「古文書」から伝わる「時代」「文化」「思想」  
などに触れていただけます。誰でも気軽に学習いただける講座で  
すので、ぜひご参加下さい。

- 【日 時】 6月1日(日)~6月22日(日)  
毎週日曜日 4回講座  
講義時間 13:30~15:00
- 【講 師】 増田 雄氏
- 【参加費】 800円(4回分、初回に徴収します)
- 【定 員】 50名
- 【申込受付】 5月7日(水) ☎22-0511番にて受付

芭蕉翁生誕370年記念事業

## 「芭蕉さんと私」特別展示

芭蕉翁生誕360年記念に制作された冊子『芭蕉さんと私』の原  
稿を展示します。各界の著名人が芭蕉翁への思いを綴った寄稿文  
(直筆含む)の展示を通して、改めて翁が敬愛されていることを  
再発見いただけたと思います。

- 【日 時】 5月16日(金)~18日(日)  
16日 13:00~17:00  
17日 10:00~17:00  
18日 10:00~16:00
- 【会 場】 栄楽館 伊賀市上野相生町2842
- 【入 場 料】 無料
- 【共 催】 2014伊賀びと委員会





## かけっこ教室

かけっこがうまくなりたい子大募集 !!

- 【日 時】 5月10日(土)  
受付 9:30~ / 時間 10:00~12:00
- 【場 所】 上野運動公園 競技場  
※雨の場合は、上野運動公園体育館
- 【料 金】 一人 300円
- 【対 象 者】 小学生
- 【定 員】 30名
- 【講 師】 伊賀市陸上競技協会
- 【申込受付】 4月19日(土) 10:00から ☎22-0511にて申込受付



## 骨盤矯正ストレッチ

~正しい姿勢を見つけましょう~

- 【日 時】 毎週木曜日 6回コース  
第2期 5月22日~6月26日  
受付 10:30~ / 時間 11:00~12:00
- 【場 所】 伊賀市文化会館 リハーサル室
- 【料 金】 3,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 25名 ※定員になり次第締切
- 【講 師】 辻 明子先生
- 【申込受付】 4月26日(土) 13:00から ☎22-0511にて申込受付  
※1回のお電話につき、2名様までとします。



## Let's YOGA in 文化会館

リラックス&ダイエット

- 【日 時】 毎週水曜日 10回コース  
第2期 6月18日~9月3日  
※7/30、8/13休講  
受付10:30~/時間11:00~12:00
- 【場 所】 伊賀市文化会館 リハーサル室
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 25名
- 【講 師】 中 依伊子先生
- 【申込受付】 4月23日(水) 13:00から  
☎22-0511にて申込受付  
※1回のお電話につき、3名様までとします。

## Let's YOGA in 武道館

リラックス&ダイエット

- 【日 時】 毎週金曜日 10回コース  
第2期 6月20日~9月5日  
※7/25、8/15休講  
受付10:30~/時間11:00~12:00
- 【場 所】 伊賀上野武道館
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 15名
- 【講 師】 錦 真奈美先生
- 【申込受付】 4月25日(金) 13:00から  
☎22-0511にて申込受付  
※1回のお電話につき、2名様までとします。

## ZUMBA

ラテン系フィットネス

- 【日 時】 毎週木曜日 10回コース  
第2期 6月19日~8月28日  
※8/14休講  
受付19:00~/時間19:30~20:30
- 【場 所】 伊賀市文化会館 リハーサル室
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 25名
- 【講 師】 川南 林恵先生
- 【申込受付】 4月26日(土) 11:00から  
☎22-0511にて申込受付  
※1回のお電話につき、3名様までとします。

## 太極拳教室

— カラダの芯からリラックス —

- 【日 時】 毎週土曜日 10回コース  
第2期 6月21日~8月30日 ※8/16休講  
受付 9:30~ / 時間 10:00~11:30
- 【場 所】 いがまちスポーツセンター
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般(高校生以上)  
20名  
※先着順。定員になり次第締切。
- 【講 師】 横山 公則先生
- 【申込受付】 4月27日(日) 10:00から  
☎45-9125にて申込受付  
※1回のお電話につき、2名様までとします。



## 癒しのマットサイエンス

ヨガとピラティスの融合

- 【日 時】 毎週月曜日 10回コース  
第2期 6月23日~9月1日 ※7/21休講  
受付 10:30~ / 時間 11:00~12:00
- 【場 所】 伊賀上野武道館
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 15名
- 【講 師】 阿部 和矢先生
- 【申込受付】 4月26日(土) 10:00から ☎22-0511にて申込受付  
※1回のお電話につき、2名様までとします。



## エアロビクス

音楽に合わせてみんなで楽しくエクササイズ!

- 【日 時】 毎週月曜日 10回コース  
第2期 6月23日~9月1日 ※7/21休講  
受付 19:30~ / 時間 19:45~20:45
- 【場 所】 阿山B&G海洋センター
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 一般
- 【定 員】 35名
- 【講 師】 山下 華子先生
- 【申込受付】 4月26日(土) 14:00から  
☎22-0511にて申込受付



## 元気ママ・ママ&ベビーの3B体操

- 【日 時】 毎週火曜日 10回コース  
第2期 7月1日~9月9日 ※8/12休講  
☆元気ママクラス...10:00~11:00  
☆ママ&ベビークラス...11:00~12:00
- 【場 所】 三重県立ゆめドームうえの
- 【料 金】 5,000円
- 【対 象 者】 ☆元気ママクラス...1歳以上の未就園(所)児とその保護者  
☆ママ&ベビークラス...生後3か月~1歳未満の乳児とその保護者
- 【定 員】 各15組
- 【講 師】 (社)日本3B体操協会公認インストラクター
- 【申込受付】 4月23日(水) 10:00から ☎22-0511にて申込受付  
※1回のお電話につき、1組とします。

ホール・ドーム **これから** 情報

**あやま文化センター** 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/19(土) ①9:45~ ②13:45~	ミュージックフェスタ 2014	無料	上野レスナーグループ ☎21-6767(渋谷)
4/29(火・祝) 13:30~	第34回 レスナーピアノ発表会	無料	上野レスナーグループ ☎21-4861(越山)
5/11(日) 14:00~	第9回 さんさん名曲コンサート ~時代を彩る名曲たち~	500円	伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
6/8(日) 9:30~	第19回 さわいカラオケ教室発表会	無料	さわいカラオケ教室 ☎21-6191(澤井)

**伊賀市文化会館** 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/20(日) 9:50~	伊賀市上野カラオケ協会(ひよこ) 西川カラオケ愛好会合同発表会 ゲスト歌手 千葉一夫、井上由美子	無料	西川のち奈 ☎38-1578 090-4858-2980
5/17(土) 9:00~	伊賀市戦没者追悼式	無料	伊賀市健康福祉部厚生保護課 ☎22-9650(健康福祉部厚生保護課)
5/18(日) 10:00~	民謡やよい会 第25回発表大会	無料	民謡やよい会 ☎21-2775(大会会長 曾我 省吾)
5/25(日) 15:00~	アニソンBIG3 スーパーライブ2014in伊賀	1階3,500円 2階3,000円 (全席指定)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
6/8(日) 13:30~	響け!復興のハーモニー 上野ウインドアンサンブル第27回演奏会	おとな1,000円 子ども(4才~高校生)500円 (全席自由)	上野ウインドアンサンブル ☎47-0405(岡山) ☎52-5850(上田)

**B&G 海洋センターでカヌーを  
ご利用いただけます**

大山田・阿山B&G海洋センターでカヌーをご利用いただけます。

自然の中でカヌーを体験してみよう! 団体でのご利用も可能です。

- ◇ご利用できるカヌー等  
1人乗りカヌー、2人乗りカヌー、手漕ぎボート、その他ライフジャケット等をご利用いただけます。
- ◇お問合せ先  
大山田B&G海洋センター TEL47-0551
- ◇その他  
ご利用の際は、事前に申請が必要となります。また、指導者を配置していただく必要があります。



**青山ホール** 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
5/10(土) 16:00~	菅生 千穂 クラリネット・リサイタル	一般2,000円 (前売り1,500円) 学生1,000円 (前売り500円)	スタジオ・ソノリカ ☎21-3559 (菅生 和光)
5/18(日) 15:00~	N響トップメンバーによる プラスアンサンブル	【前売】一般2,000円 高校生以下1,000円 (当日各500円増)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
6/7(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
6/8(日) 18:00~	命の音楽祭 チャリティーLIVE ロックバンド おかんJUNCTURE	大人 3,000円 小中学生 1,500円 (当日500円増)	楽命風 ☎090-1274-2817 (奥野 潤子)

**ふるさと会館いが** 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
5/17(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加費 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
5/23(金) 19:30~	いがまち同和教育研究会 総会・研修会	小ホール	無料	いがまち同和教育研究会 ☎45-9108(平地)

**ゆめドームうえの** 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
4/27(日) 8:00~	JA旗小学生バレーボール大会	第一、二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎090-8738-5205(生中)
4/29(火・祝) 9:00~	伊賀春季バレーボール大会 中学生の部	第一、二	伊賀バレーボール協会 ☎090-1983-4216(澤)
5/11(日) 9:00~	全日本クラブカップ三重県予選	第一、二	三重県クラブバレーボール連盟 ☎090-2347-1091(福岡)
5/17(土) 9:00~	伊賀市卓球団体選手権大会	第一	伊賀市卓球協会 ☎090-5033-4821(其道)
5/18(日) 8:30~	第7回さつき杯	第一、二	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920(内田)
5/24(土) 9:00~	第45回全国ママさんバレーボール大会 三重県予選	第一、二	三重県ママさんバレーボール連盟 ☎63-1496(藤村)
5/25(日) 9:00~	三重県夏季大会 伊賀地区予選	第一、二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎090-8738-5205(生中)
6/1(日) 9:00~	中部総合バレーボール選手権大会 三重県予選	第一、二	三重県バレーボール協会 ☎090-1983-4216(澤)
6/7(土) 8:00~	子ども会卓球大会	第一	上野児童福祉社会連合会 ☎22-9637(中央公民館)

**伊賀びと川柳**

底冷えも伊賀の自慢だ冬を越し  
井ノ上 指男

今はバス御利益あるのか伊賀道路  
田中 鋭子

まいづる(お菓子)で旅人客におもてなし  
東平 幸子

★思案後に少し高め伊賀米を  
高橋せつ子

伊賀街は忍者難まで顔揃え  
谷本 直美

女子サッカー流石くノ一番早いぞ  
福森ひであき

次号(94号)の締切は5月15日(水)です。投稿いただいた方の中から★印の方に「芭蕉翁生誕370年記念事業 芭蕉が想いを馳せた津軽 魂宿る津軽三味線百人弾き」ペアチケットをプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

**編集部だより**

「命二つの中に生きてる桜かな」(貞享二年・芭蕉)  
二十年ぶりに旧友とはからずも出会うことができた、二人の間には咲き誇る桜があった。芭蕉喜びの句です。  
伊賀を離れた人は必ず故郷の友、山河を思います。そんな思いをぶんと通信では「一筆啓上ふるさとへ」の欄でご紹介します。紙面でもいいから伊賀への思いを届けたい友達、お知り合いをご紹介ください。  
生誕370年の記念の年、故郷を離れたあなたの便りで芭蕉の句のような再開をお待ちしています。(広報事業委員 森 正美)

**お問い合わせ** (公財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512 Eメール samazama@bunto.com  
 ☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

ぶんと通信